

もしものときの災害に備えて、  
日頃からご家族で確認を！

 横瀬町

保存版

防災  
ガイドブック

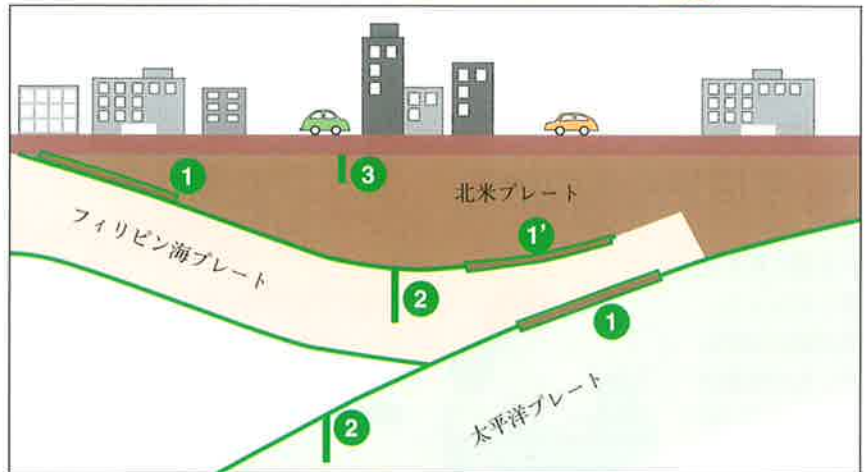
# 日本で発生する地震のタイプ

地震は、断層運動によって起こり、大きく次の3タイプに分類されます。

## 1.プレート境界で発生する地震 2.プレート内で発生する地震 3.内陸部の活断層を震源とする地震

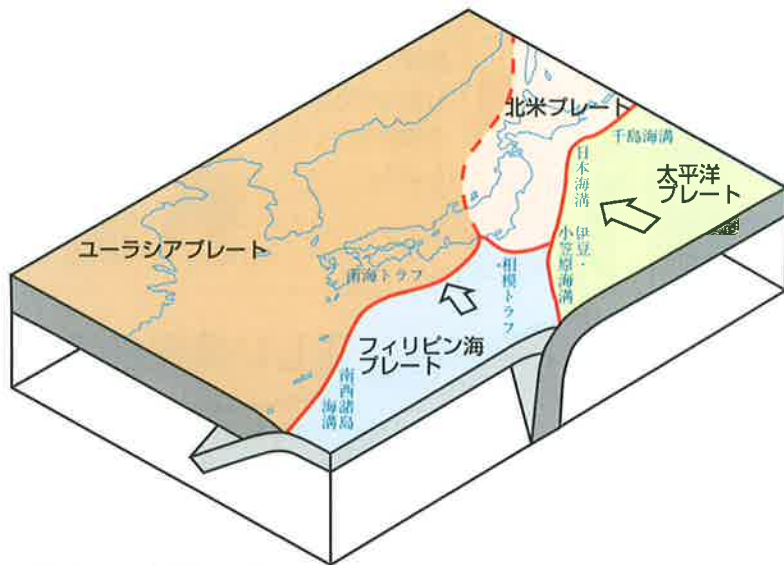
太平洋側で海洋プレートが陸のプレートの下に沈み込んでいるため、日本列島には東-西方向ないし、南東-北西方向に強い圧縮の力がかかっています。この海洋プレートの沈み込みと、それに伴う陸地の圧縮により、日本各地でさまざまな地震が発生するのです。

### ●南関東直下のプレート構造と発生する地震タイプ



- ① プレート境界部の海溝で発生する巨大地震
- ①' その他プレート境界で発生する地震
- ② プレート内で発生する地震
- ③ 内陸部の活断層を震源とする地震

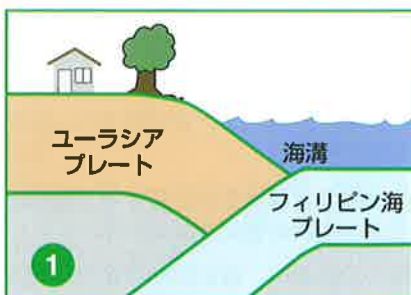
# 日本周辺のプレートと地震発生メカニズム



### ●日本周辺のプレート

日本の太平洋岸の海底では、海洋プレートが陸のプレートの下に沈み込んでおり、これらプレート境界では、プレート先端部が跳ね上がることで、マグニチュード8クラスの海溝型地震が発生することがあります。

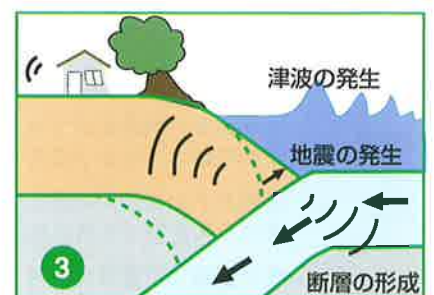
### ●海溝型地震の発生メカニズム



① 海側のプレートが年数cmの割合で陸側のプレートの方へ移動し、その下へ潜り込む。



② 陸側のプレートの先端部が引きずり込まれ、ひずみが蓄積する。



③ ひずみがある限界に達した時、陸側のプレートが跳ね上がり、地震が発生する。その際、津波が発生する場合がある。

# 地震への安全対策



地震から身を守る最大のポイントは、日頃の備えです。ケガや火災などの二次災害を引き起こさないためにも、いざという時の行動を確認しておきましょう。

## 1 まず身の安全を！

ケガをしたら火の始末や避難ができてしまいます。家具の転倒や落下物には十分な対策をとりましょう。



## 2 すばやく火の始末

揺れを感じたらすばやく行動しましょう。火元付近には燃えやすいものを置かない習慣をつけましょう。



## 3 戸を開けて出口の確保

震動でドアが開かなくなることがあります。戸を開けて避難口の確保をしましょう。



## 4 火が出たらすぐ消火

万が一出火しても、天井に燃え移る前なら大丈夫です。あわてず消火をしましょう。



## 5 あわてて外に飛び出さない

飛び出しはケガのもとです。冷静な判断をしましょう。



## 6 狭い路地やブロック塀には近づかない

ブロック塀や自動販売機は倒壊の恐れがあります。近づかないようにしましょう。



## 7 協力し合って応急救護

地域ぐるみで協力し合って応急救護の体制をつくりましょう。



## 8 山崩れ、がけ崩れに注意

居住地の自然環境を把握して二次災害防止を心掛けましょう。



## 9 避難は徒歩で

車での避難は危険なうえ緊急車両の障害になります。ルールを守る心のゆとりをもちましょう。



## 10 正しい情報を聞く

事実はひとつです。間違った情報にまどわされず的確な行動をとりましょう。



事例 1 地震発生と同時にタンスが倒れたが、寝室には大きな家具を置いてなかったため助かることができた。

ポイント

家具の転倒防止対策と、家の中に安全なスペースをつくるのが大切です。

事例 2 玄関ドアがゆがんで家の中に閉じ込められた。窓ガラスを割って外へ出ることができた。

ポイント

鉄製など頑丈な玄関ドアは注意が必要です。玄関以外からも脱出できる場所の確保が大切です。

事例 3 家の倒壊で下敷きになり、動くことができなかったが近所の人の協力で助け出された。

ポイント

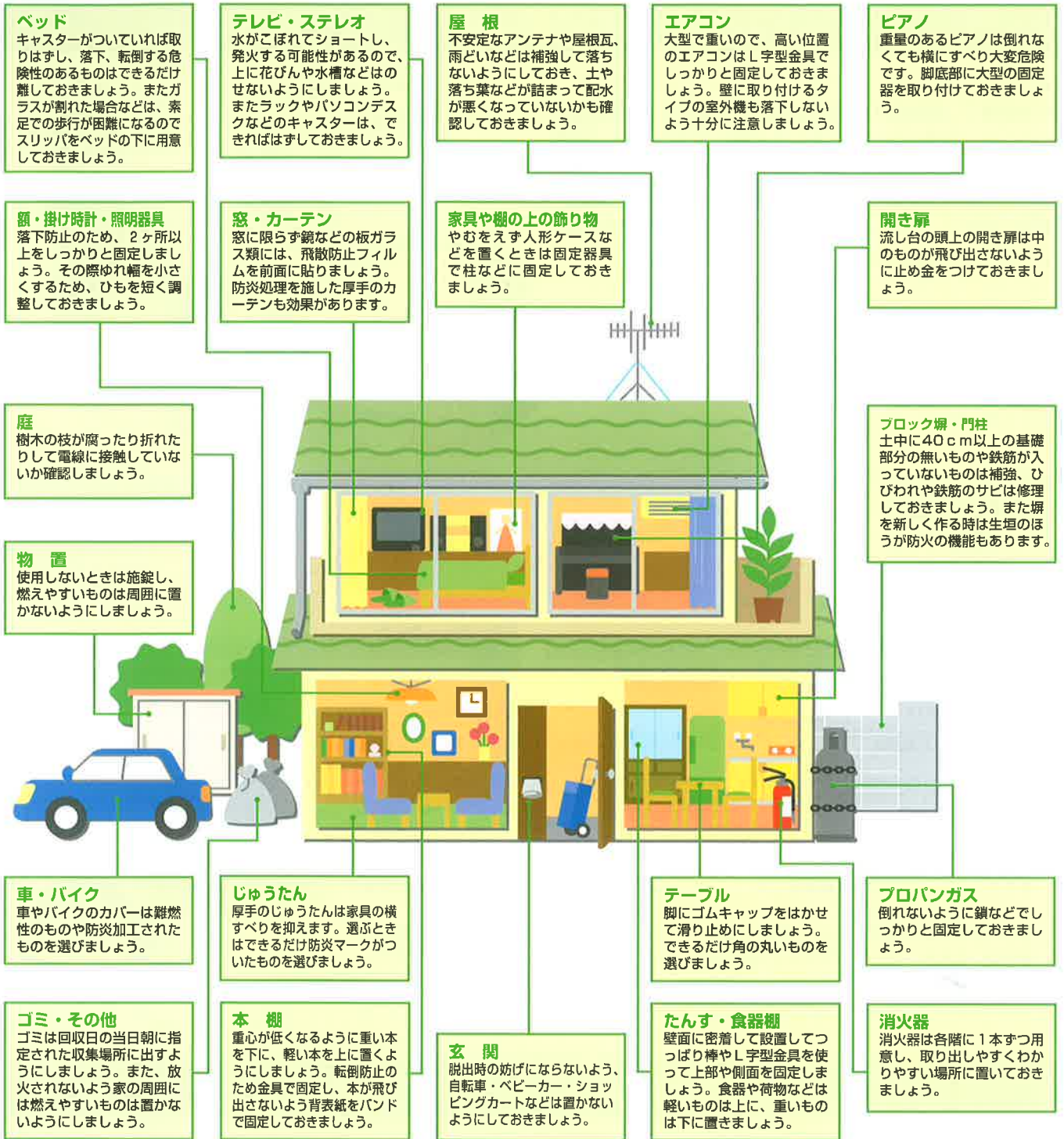
ふだんから地域とふれあい、互いに助け合う地域づくりが大切です。

事例 4 地震発生後、うわさや誤った情報が流れたが、ラジオからの情報で惑わされなかった。

ポイント

ラジオで正確な情報を得て行動することが大切です。

# 家庭内の防災チェック



## 放火に注意!! 放火による火災が増えています。

### ●放火はこんなところに

○ゴミステーション ○物置や空家など ○工事  
中の建築物 ○家と家の隙間空間 ○店舗のバックヤード・単車カバー

### ●放火できなかった理由

逮捕された放火犯の証言では放火ができなかった例として以下の3点が挙げられました。

1. 明るかった
2. パトロールしていた
3. 家の周りに燃やすものがなかった



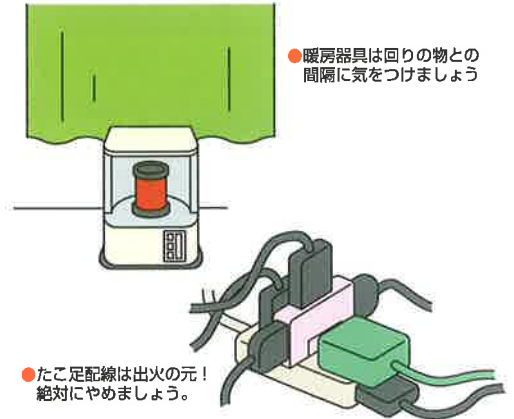
家の周囲には燃えやすいものは置かないようにしましょう。

# 火災について

## リビング

住宅火災で最も多い出火場所が居室です。

- 灰皿にはいつも水を入れておき、吸殻は溜めずにこまめに捨てましょう。
- ストープのまわりは、前面1m以上、横・後15cm以上、上部1m以上あけておき、カーテンや家具・スプレー缶などを近づけないようにしましょう。
- 部屋に誰もいない時は、ストーブを必ず消しましょう。
- 石油ストーブは確実に火が消えてから給油しましょう。
- 電気のコードをカーペットや家具などの下敷きにならないようにしましょう。
- たこ足配線はしないようにしましょう。
- 内装材には、火を広げにくい不燃性のものを使いましょう。できるだけ不燃性の壁紙などを使って、壁や天井、出入口などを燃えにくい構造にしましょう。



## 台所

食事の準備をする時間帯に火災が多く発生しています。

- コンロのそばを離れる時は、必ず火を消しましょう。
- コンロまわりはいつも整理整頓し、古くなってひびの入ったガスホースは交換しましょう。
- コンロは壁から離しておきましょう。ガスコンロが近づきすぎるとまわりの壁が燃えだすことがあります。
- 天ぷら油の加熱に注意をしましょう。天ぷら油は高温になると火種がなくても発火し、燃えだします。
- ガス栓にヒューズコックを付けましょう。ガス管が抜けた場合も安心です。
- 住宅用消火器はいつも取りやすい場所におき、以下のことに注意しましょう。
  - 1.5m以下の低い場所に置く。
  - 水や油で濡れる位置に置かない。
  - 使い方を訓練しましょう。



## 寝室

ふとんに火がついた火災で多くの方が亡くなっています。

- 寝たばこは絶対にしないようにしましょう。
- 暖房器具の整備点検をしましょう。片付ける時は、灯油や乾電池を抜き取りましょう。
- ストーブをつけたまま寝ないでください。
- こたつの中に洗濯物を干さないようにしましょう。
- コードを引っ張って抜かないでください。
- 器具にあった電球のワット数を使いましょう。
- 避難の経路はいつも整理整頓しておき、万一の火災にもスムーズに避難できるようにしておきましょう。



火災の原因の多くが、コンロの消し忘れや、たばこの投げ捨てなど、私たちの気の緩みや不注意によるものです。火を出さない環境づくりとともに、「火の用心」の精神を常に忘れず、尊い命や財産を火災から守りましょう。

## それでも火がでたら？

1

### はやく知らせる。

大声で叫び、となり近所に知らせ、協力をしてもらいましょう。また、119番に落ち着いて通報しましょう。

2

### はやく消火する。

火が燃え広がらないうちに、すばやく消火しましょう。また火災に備え、日頃から消火器を準備しておきましょう。日の当たる場所や湿気の多いところを避け、だれでも見やすく、使いやすい場所に置きましょう。

3

### はやく逃げる。

天井まで火が燃え広がったら消火は困難です、速やかに避難しましょう。避難するときは燃えている部屋のドアや窓を閉めて延焼を防ぎましょう。

## 119番への通報は 落ち着いて。

消防活動をすみやかにを行うため、以下の要件を落ち着いて適確に伝えましょう。

火事です。○○○○が燃えています。

救急です。(ケガ・急病)です。

こちら \_\_\_\_\_ 町 \_\_\_\_\_ 丁目

\_\_\_\_\_ 番 \_\_\_\_\_ 号の \_\_\_\_\_ です。

目標物は \_\_\_\_\_ の \_\_\_\_\_ です。



## 消火用具の備えと正しい使い方



●安全ピンを引き抜く。



●ホースの先を持って  
火元に向ける。



●レバーを強くにぎる。



消火器を使用するときには、低い姿勢でほうきで掃くように使って下さい。避難路を確保し、風上に回り、炎や煙を避けるように、姿勢を低く構えましょう。

消火訓練などに参加して日ごろから消火器の使い方を覚えておきましょう。

※消火器-4型：高さ40cmぐらいの薬剤放射時間は約15秒程度です。

## あなたの家！お済みですか！？ 「住宅用火災報知器」

### 「大切な命を守るため 1 日でも早く」

住宅火災による死者は建物火災による死者全体の約 9 割を占め、その 6 割程度が 65 歳以上の高齢者です



# 自治会の自主防災機能を強化しよう！

災害が発生したとき、それを防いだり被害を最小限に食い止めるためには、自分の家が無事なだけではいけません。住んでいる地域全体が守られて、はじめて自分や家族が安全になれるのです。安心できるまちを作るために、日ごろからコミュニティを大切に、連帯感を深めていく努力が必要です。

地域全体を守ることが、自分と家族を守ることにつながるんだ！

## 自分の身は自分で守る

もし、災害に直面しても、救援隊がすぐに来るとは、限りません！

大きな災害が発生したとき、地域は次のような状況に見舞われることがあります。

1. 道路が不通になり、防災機関の活動が困難になります。
2. 電話・水道・電気が止まり、防災関係機関への通報や消火活動に支障をきたします。
3. 同時に多数の場所で被害が出て、防災関係機関の活動が分散します。

以上のことから速やかな救援が行われないことが予想されます。

各自・各家庭で災害に備えることが重要です。



## みんなでまちを守る

地域の防災意識が、災害時に人命を助けることにつながる。

大きな災害が発生した場合、災害対応能力が著しく低下することが予想されます。このような事態が発生した場合、地域の皆さんが協力して初期消火・被災者の救出・救護、避難誘導、避難所の運営を行うことにより地域の被害を少なくすることができます。阪神・淡路大震災では、倒壊家屋などから救出された人の6割が近所の方々から救出されたという報告があります。このことから自治会の自主防災機能を強化して、日ごろから災害に備えた防災活動を展開していきましょう。



防災活動の重要性を認識しよう

## 災害弱者を助ける

一人ひとりが災害弱者とのコミュニケーションの重要性を認識する。

高齢者・障害者・傷病者・妊産婦・乳幼児・児童など災害時に迅速・的確な行動をとりにくい方を「災害弱者」といいます。このような人々を災害から守るためにみなさんと協力できるようにしましょう。



### 1. 災害弱者の身になって防災環境の点検を

避難路は車椅子でも通れるか、障害物はないか、耳や目の不自由な人や外国人向けの警報や避難の伝達方法は確立されているかなど、災害弱者に対応したまちの環境づくりを進めましょう。

### 2. 災害弱者の防災能力アップを支援しよう

初期消火や避難、応急手当の方法など災害弱者自身が行えるように、災害弱者も参加できる防災訓練や講習会などを開催し、防災能力の向上に協力しましょう。

### 3. 地域での協力・支援体制を具体的に決める

日ごろの連絡役、非常時の救援役が不在だった場合、被災後の生活をどのように支援するかなど、日常・非日常・被災後の支援方法や体制を明確にしておき、一人の災害弱者に対して複数の住民による支援体制を組むようにしましょう。

### 4. 地域住民の意識啓発を

災害弱者以外の住民は災害弱者支援の重要性をきちんと認識しましょう。地域社会で共生する住民同士としてのコミュニケーションの場を持ち、地域主体による住民の意識啓発を行いましょう。

### 平常時の活動

地域の防災活動でまず重要なのは、防災上の知識、活動の必要性や重要性を一人ひとりに理解してもらうことです。

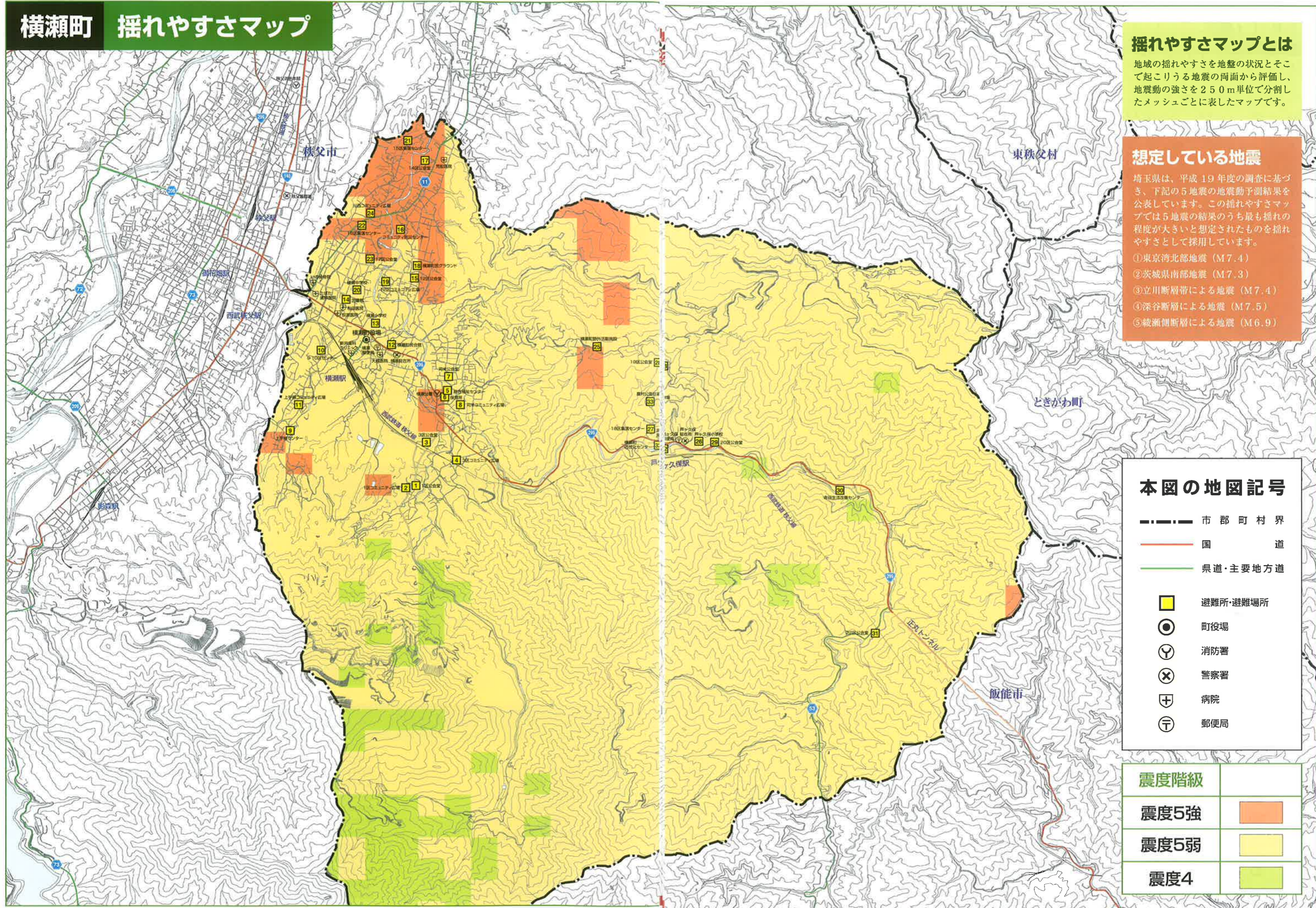
- 防災知識の普及  
防災についての正しい知識を身につけるために、防災訓練や講習会を通じて防災知識の普及を行う。
- 地域内の防災環境の確認  
災害が発生したときに、地域内の被害の発生、拡大につながる原因がないか、また援助の必要な災害弱者の確認を行う。
- 家庭の安全確認  
各家庭の災害時の安全対策を点検・整備する。
- 防災用機材の整備点検
- 防災訓練の実施  
日ごろから災害に備えて訓練を行い、消火器の使用法など防災活動に必要な知識や技術を習得します

### 災害時に活動

自主防災組織では、非常時の応急活動の目標として、主に以下のような活動を想定しているケースが多く見られます。

- 情報班/災害に関する情報の収集と、住民に対する正しい情報の伝達。
- 消火班/出火防止および初期消火活動
- 避難誘導班/住民の避難誘導活動
- 救出救護班/負傷者の救出、救護所への搬送、救護活動
- 給食・給水班/水や食料などの配分、炊き出しなどの給食給水活動

# 横瀬町 揺れやすさマップ



## 揺れやすさマップとは

地域の揺れやすさを地盤の状況とそこで起こりうる地震の両面から評価し、地震動の強さを250m単位で分割したメッシュごとに表したマップです。

## 想定している地震

埼玉県は、平成19年度の調査に基づき、下記の5地震の地震動予測結果を公表しています。この揺れやすさマップでは5地震の結果のうち最も揺れの程度が大きいと想定されたものを揺れやすさとして採用しています。

- ① 東京湾北部地震 (M7.4)
- ② 茨城東南部地震 (M7.3)
- ③ 立川断層帯による地震 (M7.4)
- ④ 深谷断層による地震 (M7.5)
- ⑤ 綾瀬断層帯による地震 (M6.9)

## 本図の地図記号

- 市郡町村界
- 国道
- 県道・主要地方道
- 避難所・避難場所
- 町役場
- Ⓜ 消防署
- Ⓧ 警察署
- Ⓡ 病院
- 〒 郵便局

震度階級	
震度5強	■ (Orange)
震度5弱	■ (Yellow)
震度4	■ (Light Green)



# わが家の防災メモ

● 避難所＝

● 家族が離ればなれになった時の集合場所・連絡先＝

● 緊急連絡先

緊急連絡先	電話番号	緊急連絡先	電話番号

## 覚えてください!

### 災害時の声の伝言板 災害用伝言ダイヤル「171」

- 被災地内の方も、被災地以外からの方も、被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。録音された伝言は被災地の方の電話番号を知っている方が聞くことができます。
- 一般加入電話、公衆電話、携帯電話、PHS(共に一部事業者を除く)からご利用になれます。

### 伝言の録音方法

**171** にダイヤルする

▼ ガイダンスが流れます

録音の場合 **1**

▼ ガイダンスが流れます

**0494** ××××××

### 伝言の再生方法

**171** にダイヤルする

▼ ガイダンスが流れます

再生の場合 **2**

▼ ガイダンスが流れます

**0494** ××××××

## 備蓄品(非常持出品)のチェック表

### 非常持出品

避難する時に持ち出す最小限の必需品。

男性で15kg、女性で10kg程度を目安にリュック等の持ちやすい状態で準備しておきましょう。

**非常持出品**

リュックサック、携帯ラジオ、懐中電灯、現金、乾電池、免許証、保険証、預貯金通帳、印かん

**非常食品**

カンパン・缶詰、栄養食品、離乳食、ドライフーズ、飲料水、レトルト食品

**その他の生活用品**

衣類、ティッシュペーパー、軍手・タオル、雨具、ライター、生理用品、缶切り、栓抜き、プラスチックか紙の皿、コップ、わりばし、ヘルメット・帽子

**応急薬品**

包帯、ばんそうこう、目薬、鎮静剤、解熱剤、傷薬、胃腸薬、消毒薬、常備薬

リュックサック	カンパン・缶詰 3日分	包帯	衣類	おむつ
携帯ラジオ	栄養食品 3日分	ばんそうこう	ティッシュペーパー	缶切り、栓抜き
懐中電灯	離乳食	目薬	軍手、タオル	プラスチックか紙の皿
現金	粉ミルク	鎮静剤、解熱剤	雨具	コップ、わりばし
乾電池	ドライフーズ 3日分	傷薬、胃腸薬	ビニール袋	ヘルメット、帽子
免許証	飲料水	消毒薬	ウェットティッシュ	
保険証	レトルト食品	常備薬	生理用品	
預貯金通帳、印かん			ライター	

※冬期は防寒具の準備

発行：横瀬町役場 総務課

横瀬町大字横瀬4545 TEL.0494-25-0111